

公益社団法人 日本水産学会
令和 6 年度第 2 回理事会議事録

1 開催された日時 令和 6 年 4 月 20 日（土）13 時 00 分～15 時 53 分

2 開催された場所 日本水産学会事務局（東京都港区港南 4-5-7）

3 理事総数及び定足数

総数 20 名、定足数 9 名

4 出席理事総数 19 名

（Web 会議システムによる出席）

東海 正、山下 洋（報告事項中 14 時 38 分に退席）、中田 薫、潮秀樹、廣野育生、佐野元彦、落合芳博、小島隆人、河村知彦、大嶋雄治（報告事項中 14 時 38 分に退席）、古川史也、マーシー・ワイルダー、蒲原 聰、木村暢夫、栗田 豊、八木信行、奥村卓二、澤田好史、有瀧真人

5 出席監事

（Web 会議システムによる出席）

佐藤秀一、良永知義

6 出席幹事

（Web 会議システムによる出席）

二羽恭介、神尾道也、加藤豪司、森田哲郎

7 オブザーバー

（Web 会議システムによる出席）

山本洋嗣、寺原 猛、三田村啓理（令和 6 年度秋季大会総務、第 3 号議案終了後の 13 時 31 分着席、第 5 号議案終了後の 13 時 43 分退席）

8 議 案

決議事項

第 1 号議案 「水産利用懇話会委員会委員の交代及び幹事の選出」 の件

第 2 号議案 「国際交流委員会委員の交代」 の件

第 3 号議案 「学会賞授賞規程第 3 条第 2 項に関する注意喚起」 の件

第 4 号議案 「令和 6 年度秋季大会業務委託業者」 の件

第 5 号議案 「令和 6 年度秋季大会募金目論見書」 の件

第 6 号議案 「大会における講演要旨の書き方」 の件

第 7 号議案 「科研費増額に関する要望書と署名サイトの協力依頼」 の件

第 8 号議案 「入会承認」 の件

第 9 号議案 「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」 の件

報告事項

① 令和 6 年度第 1 回理事会以降の職務執行状況

② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

東海会長が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「水産利用懇話会委員会委員の交代及び幹事の選出」の件

潮総務担当理事から、原案についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

委員

[辞任] 尾島信彦 [選出] 橋本加奈子

[辞任] 堀 英夫 [選出] 前田 守

幹事

[選出] 橋本加奈子

第 2 号議案 「国際交流委員会委員の交代」の件

潮総務担当理事から、原案についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

[辞任] 宮田 勉 [選出] 本田 聰

第 3 号議案 「学会賞授賞規程第 3 条第 2 項に関する注意喚起」の件

大嶋学会賞担当理事から、原案についての説明があった。本件について以下の質疑応答があった。

八木理事 「学会誌記事等査読のないものは業績としないと書かれているが、シンポジウム記録などはどのような扱いか。」

大嶋理事 「査読のないものは業績と認めない。」

東海会長 「編集員委員会が扱う報文と短報以外は、企画広報委員会による企画記事扱いとなり、論文としての査読はされてない。要旨集という表記は良いのか。」

潮理事 「要旨集ではなく、講演要旨集が良いのではないか。」

東海会長 「講演要旨集に修正してほしい。」

審議の結果、原案を一部修正のうえ出席理事全員一致で可決した。

第 4 号議案 「令和 6 年度秋季大会業務委託業者」の件

澤田近畿支部担当理事の求めにより、三田村令和 6 年度秋季大会総務から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 5 号議案 「令和 6 年度秋季大会募金目論見書」の件

澤田近畿支部担当理事の求めにより、三田村令和 6 年度秋季大会総務から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 6 号議案 「大会における講演要旨の書き方」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第7号議案「科研費増額に関する要望書と署名サイトの協力依頼」の件

東海会長から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。この要望書と署名の内容に対する意見については、4月末までに理事から提出されたものを会長が取りまとめることとした。

第8号議案「入会承認」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第9号議案「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

その他、以下の質疑応答があった。

廣野理事「学会賞の条件の記載に関連して、推薦対象業績のその他の報文に企画記事を入れるのは問題ないか。」

大嶋理事「査読有りではなく、他の報文ということであれば問題ない。」

澤田理事「学会の口頭発表やシンポジウムの講演時にスライドの撮影は禁止になっていると思うが、これは規程に定めがあるか。」

東海会長「大会規程に定めがある。」

澤田理事「取材についてはどのような扱いか。」

東海会長「プレスリリースを流して、それに対して取材申し込みを受ける形になっている。取材であることがわかるように、腕章などをつけるようお願いしている。」

澤田理事「撮影しているのがマスコミなのか一般参加者なのかわからず混乱する。マスコミであることがわかるよう、取材時に学会で用意した腕章を付けさせる、未発表の内容もあるので、発表の内容がわかるような写真はマスコミであっても映さないように等、徹底してはどうか。」

東海会長「大会運営の引継ぎで扱われているはずだが、十分でないならば、大会運営規程の一部改正で対応するか検討したい。」

(報告事項)

① 令和6年度第1回理事会以降の職務執行状況

・会長

東海会長 特になし。

・庶務関係

潮担当理事から、以下の報告があった。

1) 以下の協賛、後援について、共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ 3) を適用した。

① 第38回日本キッチン・キトサン学会大会

主 催 日本キッチン・キトサン学会

協 賛 キトサン工業会 他 13 学協会
日 程 令和 6 年 8 月 29 日・30 日
場 所 京都府立大学（京都府京都市）
希 望 協賛
負担金 なし

② 第 43 回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

主 催 朝日新聞社、朝日学生新聞社
後 援 文部科学省 他 4 団体
希 望 後援
負担金 なし

・企画広報関係

廣野担当理事から、5 月 9 日に委員会を開催することが報告された。

・財務関係

小島担当理事 特になし。

・編集関係

落合担当理事から、3 月 29 日に第 1 回委員会をハイブリッドで開催し、*Fisheries Science* のインパクトファクターが 2022 年の 1.9 から 2023 年は 1.3 に低下する予想であり、これは計算方法の変更が原因と考えられることが報告された。また最近、査読者を探すのが難しく、これについては編集委員を増やす等の方策を検討していること、日本水産学会誌における Conflict of interest や Data availability の宣言の扱いについては、前回理事会での説明通り、引き続き検討していることが報告された。

・学会賞関係

大嶋担当理事 特になし。

・シンポジウム関係

河村担当理事 特になし。

・出版関係

山下担当理事 特になし。

・水産技術誌監修関係

有瀧担当理事 特になし。

・国際交流関係

佐野担当理事から 2028 WFC について別紙 1 の通り説明があった。イギリス諸島水産学会からの招待について東京海洋大学の加藤会員が派遣されることが報告された。

本件について以下の通り意見交換がなされた。

佐藤監事「中南米が次の開催地の予定となっていたが、現時点では決まっていない。また別件で、前回の春季大会の SDGs セッションで人が少なかった。学会として少し検討したほうが良いのではないか。」

古川理事「SDGs セッションは参加者や聴衆の集め方について検討する必要がある。また、海外からの招待者について、宿泊料等が高騰しており、こちらも委員会として今後検討していく。」

東海会長「2032年のWFSについては、日本水産学会の百周年にあたるので、招致していくかどうか今後の理事会で検討したい。」

・水産教育関係

中田担当理事 特になし。

・水産政策関係

八木担当理事 特になし。

・漁業・資源管理関係

小島担当理事から、漁業懇話会委員会と講演会が令和6年度春季大会にあわせて開催されたこと、講演会内容については出版予定であることが報告された。

・水産利用関係

落合担当理事 特になし。

・水産増殖関係

佐野担当理事から、3月27日に委員会と講演会が開催されたこと、秋の大会では、国内養殖産業におけるこれからの育種という内容で講演会が予定されていることが報告された。

・水圈環境関係

大嶋担当理事から、3月の春季大会中に農林水産業の気候変動影響評価と指標と水産分野における将来予測適応策に関するシンポジウムが開催され、盛会であったことが報告された。

・男女共同参画関係

中田担当理事 特になし。

・水産学若手の会関係

廣野担当理事から、春季大会で水産学若手の会主催のシンポジウムが開催され、80名近い参加者がいたこと、またナイトポスターセッションでも139名の参加があり盛会であったことが報告された。一方で、人手および予算不足であり、委員会経費での対応について事務局と検討していること、またナイトポスターセッションで優秀賞を選出する件についても、検討中であることが報告された。

本件に関しては、東海会長から、公益法人であるために予算の使途には制限もあるが、委員会経費で対応できるところは対応し、その他は寄附を募る等検討してほしい、各支部で行われている若手の活動もあるので、組織化してほしいとの意見があった。

・社会連携関係

木村担当理事 特になし。

・将来計画関係

山下担当理事 特になし。

・北海道支部、地域連携関係

木村担当理事 特になし。

・東北支部、地域連携関係

栗田担当理事 特になし。

・関東支部、地域連携関係

八木担当理事 特になし。

- ・中部支部、地域連携関係

奥村担当理事 特になし。

- ・近畿支部、地域連携関係

澤田担当理事 特になし。

- ・中国・四国支部、地域連携関係

有瀧担当理事 特になし。

- ・九州支部、地域連携関係

東海会長 特になし。

- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）

山下担当理事から、エビ養殖の書籍出版の件が順調に進捗していることが報告された。

- ・財務検討委員会（特別委員会）

小島担当理事 特になし。

② その他確認事項

(1) 令和6年度定時社員総会資料の確認

潮総務担当理事及び小島財務担当理事から、令和6年度定時社員総会資料の説明があり、令和5年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、令和6・7年度役員（理事及び監事）選任、及び令和6年度事業計画ならびに予算に関する資料を出席理事全員で確認した。

(2) 委任状及び議決権行使書の回収について

潮総務担当理事から、令和6年度定時社員総会の委任状及び議決権行使書の提出状況について現状が報告され、総会成立に向けて理事に対して協力依頼があった。

(3) 理事及び幹事の交代について

退任する理事及び幹事からの挨拶があった。

(4) 引継ぎ事項について

東海会長から、各担当理事および支部での引継ぎ事項について、必要に応じて理事会で共有していきたい旨の説明があった。

(5) 次回の理事会について

潮総務担当理事から、次回理事会は令和6年5月8日の総会終了後18時30分からWeb会議システムにて開催する旨確認があった。

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、15時53分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和 6 年 4 月 20 日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監事

監事